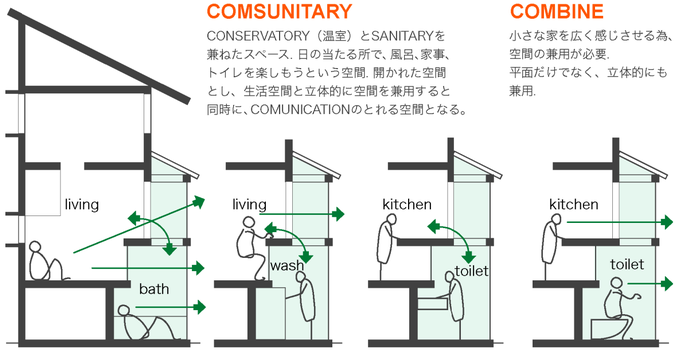
HOUSE Co7

－ 緑の中の小さな住まい －

Comsunitary
Communicate
Compact
Combine
Co_2
eCology
eConomy

3.3m×4.5m=14.85㎡

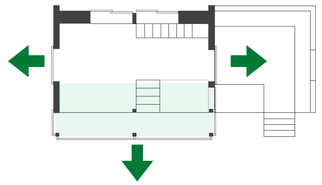


COMSUNITARY

CONSERVATORY（温室）とSANITARYを兼ねたスペース. 日の当たる所で、風呂、家事、トイレを楽しもうという空間. 開かれた空間とし、生活空間と立体的に空間を兼用すると同時に、COMUNICATIONのとれる空間となる。

COMBINE

小さな家を広く感じさせる為、空間の兼用が必要.
平面だけでなく、立体的にも兼用.

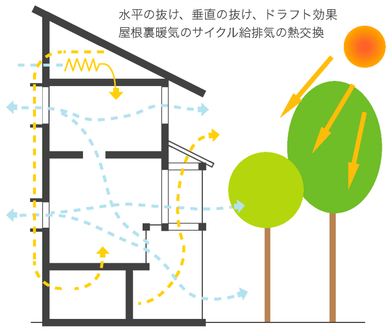


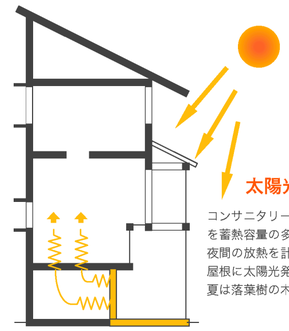
屋外生活空間

大きな開口で自然に開かれている.
屋外での生活を積極的に楽しむ住まい.

風の通る住まい

水平の抜け、垂直の抜け、ドラフト効果
屋根裏暖気のサイクル給排気の熱交換



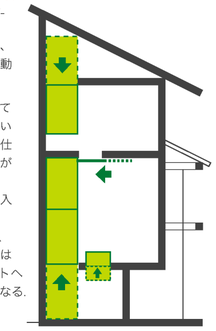
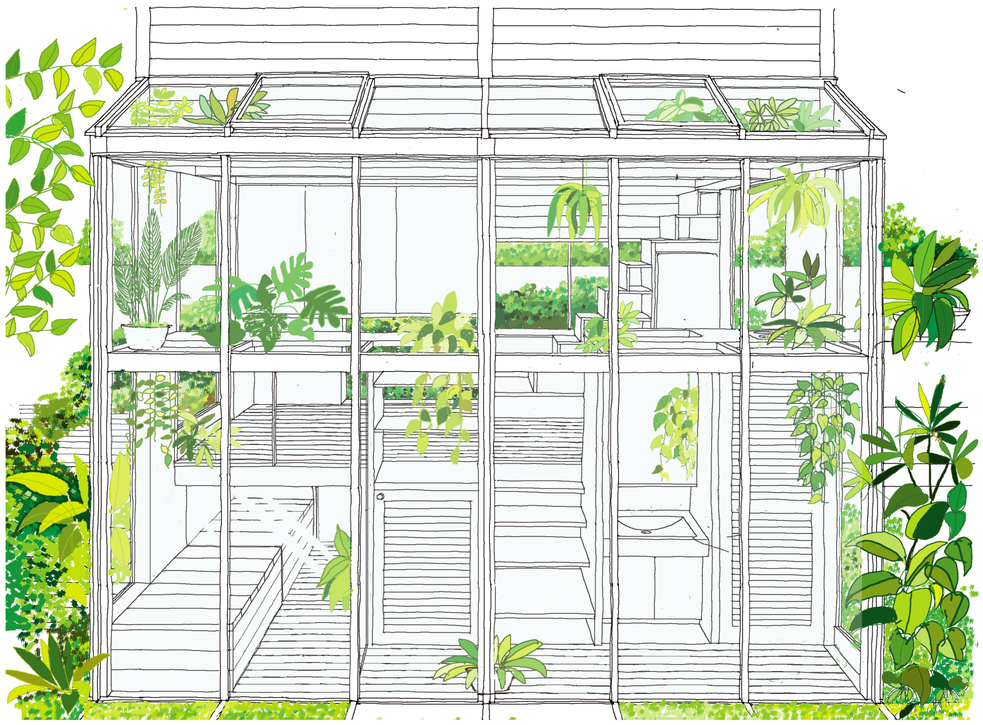
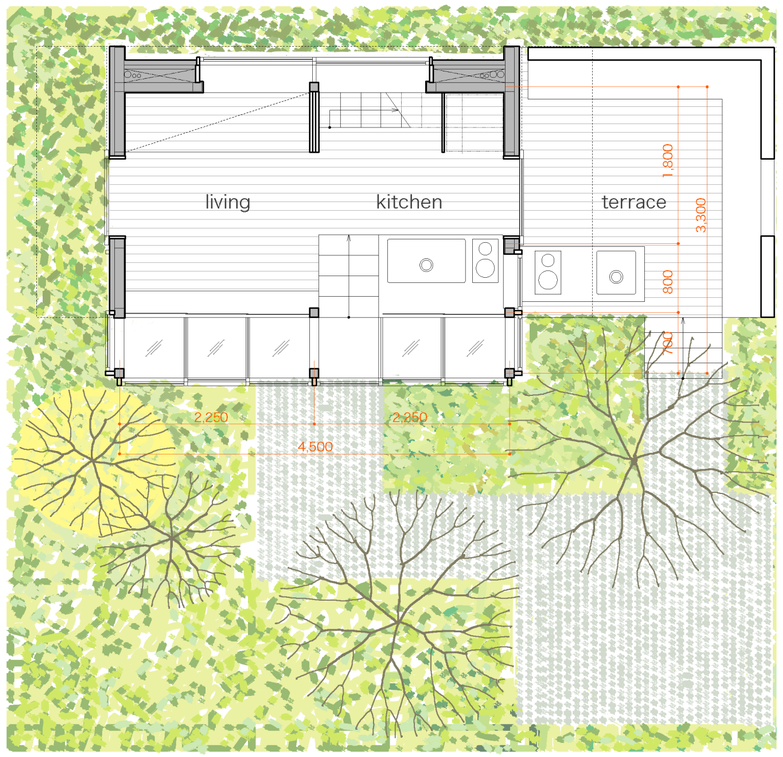
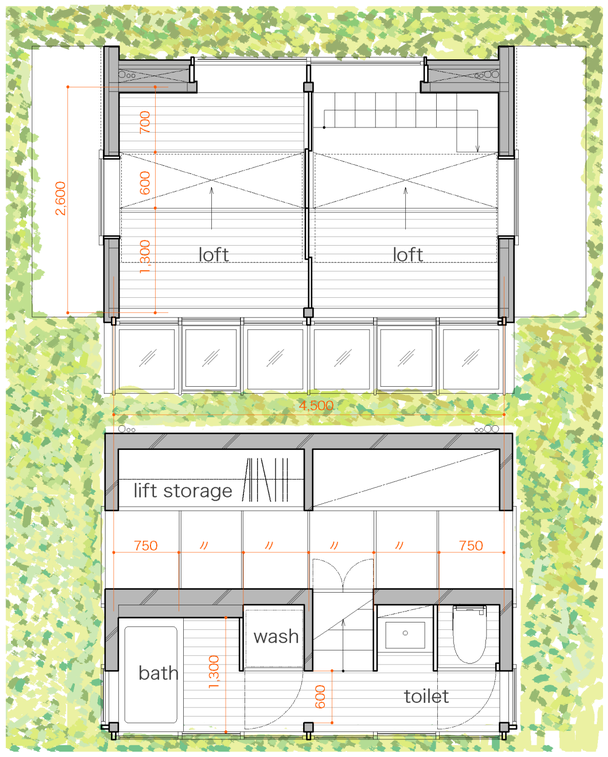


太陽光利用

コンサニタリー部分の床を蓄熱容量の多い材とし、夜間の放熱を計る.
屋根に太陽光発電設備.
夏は落葉樹の木陰

空間の有効活用

-可動収納・可動床-

屋根裏からロフトへ、縁の下から居間に可動収納を設置.

普段は吹抜けを介して一体の空間となっているロフトを可動床で仕切り、二人のゲストが宿泊出来る.
ロフトは床面積に算入しない為、天井高を1,400にしているが、可動床部分の天井高は1,800となり、ロフトへのアクセスが容易となる.